

叡山電車鞍馬線全線での運転再開のお知らせ

2020年7月8日に発生した鞍馬線貴船口駅付近の土砂災害の復旧工事は、鉄道施設の復旧が完了し、かつ京都府が施工する治山工事によって運転再開できる環境となりましたので、9月18日(土)の初発より市原駅～鞍馬駅間の営業運転を再開いたします。

災害復旧については崩壊斜面の復旧を治山事業として京都府、崩壊した土砂や倒木の撤去を含めた鉄道施設の復旧を当社という区分で実施いたしました。

工事の安全確保、工程の調整ならびに情報の共有を目的に、京都府、京都市、近畿運輸局、当社等の関係者による工事調整会議を毎月1回開催し、計9回実施いたしました。

鉄道施設の復旧工事では線路上の堆積物の除去作業に最も時間を要しました。これは土砂や倒木が折重なるように堆積しており、人力による作業が主体となったことから二次災害防止や熱中症予防など作業員の安全確保が求められる作業となりました。

また、撤去した土砂や倒木材も軌道敷きからの搬出となるため、乗り入れ車両や線路勾配(最急こう配50%)といった制約条件もあり、これにも時間を要する結果となりました。

治山工事においては、2020年9月から崩壊斜面の地質調査が始まり、復旧工事は2021年2月下旬からの着手となりました。工事は2021年4月17日の降雨により復旧斜面の一部に小規模崩壊や湧水箇所が発生したため、工事方法に見直しが必要となり、ほぼ1ヶ月間工事の中断が余儀なくされましたが、その後の工事は夏場の長雨にも苦慮しながらも順調に進められました。

これらの結果、列車の運行が安全に行えるという位置(斜面中腹に設けた仮設足場)までの治山工事が2021年8月末までに、鉄道施設の復旧工事も同年8月27日までに完了いたしました。

8月31日の夜半には同区間に試運転列車を走行させて鉄道施設設備の安全確認を実施し、問題ないことを確認いたしました。今後、運転士の習熟運転を行い、運転再開を予定しております。

長期間に渡る運休により、沿線はじめご利用の皆さまには大変ご不便、迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。また、運転再開に向けてご尽力、ご協力いただきました各方面の関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

なお、災害復旧の概況については下記のとおりでございます。

記

1. 運休状況

土砂災害発生 2020年7月8日(水)6時5分頃

運休期間 437日間

2. 運休区間



3. 線路上の堆積物

倒木 約 330 t 土砂 約 1,500 m³

4. 鉄道施設の損傷

電車線柱破損 (13本)

信号通信ケーブル・高圧ケーブル・き電線断線

落石防護ネット・レール柵・落石倒木検知線破損

軌道路盤の一部破壊

5. 復旧までの流れ



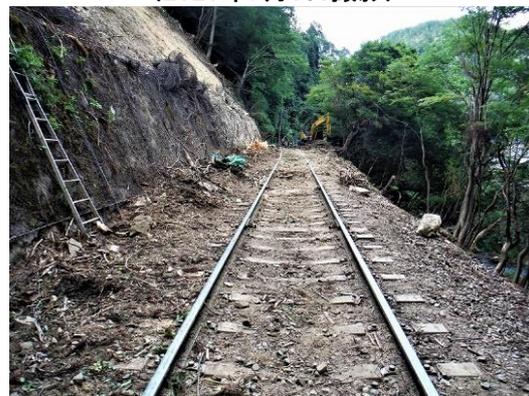
災害発生時の様子(2020年7月8日撮影)



線路に覆いかぶさった土砂・倒木
(2020年7月8日撮影)



人力で伐採した倒木材の撤去
(2020年8月6日撮影)



土砂・倒木の撤去が完了した線路
(2020年9月16日撮影)



災害箇所周辺の落石防護ネット整備の様子
(2021年3月15日撮影)



崩壊部の軌道設備復旧の様子
(2021年7月14日撮影)



運転再開に必要な施設の復旧完了の状況
(2021年8月26日撮影)

このほかにも災害発生から運転再開までの記録写真や映像を、2021年9月18日(土)～10月31日(日)まで貴船口駅1階待合室「令月」で展示いたしますので、ぜひご覧ください。